



ニュースレター あすか

2010
6月号

通算207号

2010年6月1日

平成22年度 医療法人あすか 入社式

日時 平成22年4月8日
場所 本通り アンデルセン

医療法人あすかでは、平成22年度は9名の
新卒職員を迎えました。入社式があった
4月8日は、桜が丁度満開でした。

【理事長挨拶】

「入職おめでとうございます。すでに一週間の研修で色々な事を感じて頂いていると思います。医療法人あすかへ入ると同時に社会人としてスタートするわけです。どうぞ今日の日を心に刻んで飛躍して下さい。やるうと思わない人・出来ないと思う人は何もできない。出来ると思わない限り運やチャンス・試練はやってこない。ぜひ挑戦しよう、やってみよう、出来るんだと思つて先輩の助言を得て飛躍して下さい。」

新入職員を代表して理学療法士・戸口田武先生が抱負を述べられました。

「盛大な会を開いて頂きありがとうございます。今まで得た様々な知識・知恵を実際の現場で活かすため、利用者様のことをよく知り、適切に行動に移せるように頑張つていきます。暖かく見守って下さい」

永年勤続表彰では、節目の勤続の方、16名の表彰がありました。

まやるちよーく 藤澤 聡子

送迎運転無事故表彰では12名の方の表彰が行われ、大北先生の乾杯の音頭で歓迎会に移りました。

歓迎会では各事業所・各委員会の紹介に続いて、介護支援専門員や介護福祉士など資格取得者の紹介が行われました。

歓談の後、新入職員が前に出て皆の質問に答えるゲームをして楽しみました。おかげで新入職員は顔と名前をすっかり覚えられ、あすかの一員としてすっかり溶け込んでいました。素晴らしい1年生を迎え、今年もあすかの新しい年度が始まりました。



【目次】

【ページ】

1. お薬の飲み忘れを防ぐ工夫 その2.....2
2. あすかの一職員としてのクレドへの取り組み
3. 小窓の花ことば シリーズ4.....3
4. 一人暮らし高齢者の適応に関する研究
5. あすかグルメだより シリーズ3
6. あすか事業所だより.....4
7. あすか事業所だより.....5
8. おもしろきかな我が人生
～世羅 つる子さん.....6
9. 若竹句会 4月作品抄.....7
10. あすかスタッフに迫る!.....8

“ニュースレターあすか”は当法人のホームページ上でも
見ることができます

<http://www.asuka-net.or.jp>

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

TEL:082-879-3143

FAX:082-879-3190

お薬の飲み忘れを防ぐ工夫 その2

お薬を整理しましょう！！

今回は、薬局でのお薬の整理方法(一包化)のご紹介をしました。
今回はご自宅でのお薬の整理方法についてのご紹介です。

病院や薬局からもらった袋に入っているお薬から、毎回薬を取り出して服用するのは大変ですね。食前服用の薬など引き出しなどにしまっているとつい出し忘れて食事を始めて気がついたりしませんか？

痛みや熱があるならその症状がある間はお薬を飲み忘れることはありませんが、自覚症状がなくても続けて飲まないとお薬の効果が発揮できないお薬は、出来るだけ表に出して、目に付くところにあつたほうが飲み忘れを防ぐことができます。

そこで、今回はお薬を整理して、目に付くところに配置して飲み忘れを防ぐ方法のご紹介です。

図1 .

紙の箱に仕切りをつけてお薬を並べて食卓などにおいておく方法。

飲む時間ごとに分けたり、お薬の効果別に分けたりする方法があります。

【メリット】

患者様の個々の状態に応じて配置できます。



図2 .

ホワイトボードを使用し、お薬の服用状況を把握する方法
複数の介護サービスを受けている場合には服薬の確認に使用できます。

ケアスタッフの情報の共有に便利です。



ご家族の方へ誤飲事故に注意しましょう

認知症状がある患者様の場合、錠剤のシートを一つずつ切って保管しておく、シートのままお薬を服用してしまうことがありますので、管理にはご注意ください。

コスモス薬局緑井店 上本哲男

あすかの一職員としての **クレド** への取り組み

～まやるちょーく～

「クレド」・・・4ヶ月前はピンとこない言葉でした。委員会が立ち上がり少しずつ意識するようになりました。出来ていて当たり前、出来ていると思っていた事が実は曖昧だったりすることに改めて気が付きました。次はクレドをどう浸透させていくかです。

まやるちょーくでは毎月、職員各自が「職員の行動規範 33項目」から1項目選び、日々チェックし必ず自分のものにする、という事から始めました。

最初は何となく決めていた目標(1項目)も1ヶ月、2ヶ月・・・と過ぎるうちに、次の目標(項目)は何にしよう?と、それぞれが真剣に考えるようになりました。職員一人一人が問題意識を持ち、日々過す事で、小さなクレドがいつか大きなクレドへとつながり、あすか全体のクレドになるのではないかと思います。これからも、あすかの一職員として前向きに取り組んで行きたいと思ひます。



まやるちょーく 山崎 章子



オリーブの木

しゅりあちよーく
リハビリトレーナー
高柿 美恵

折しも、小窓の花瓶にはオリーブの枝が挿してありました。オリーブの枝はDさんへの月桂冠だと思いました。

「昨夜、走っている夢を見てねー」とDさんは明るく笑いました。
「先生の許可が出たら走りましょーうね」と私は伝えました。
十ヶ月後のその日、Dさんが走った！6秒台で走った！拍手がわきあがった！

小窓の花ことば シリーズ4

リハビリトレーナーの「問はず語り」

学生時代に陸上選手だったDさんの「夢」は「もう一度走りたい」です。
しかし、Dさんは60歳前に突然脳梗塞で倒れ、左半身がマヒしてしまいました。不自由な体を懸命に動かしてリハビリに励まされました。みんなと一緒にリハビリを続け、杖なしで歩けるようになりました。

安田女子大学大学院 文学研究科

教育専攻臨床心理学コース 学生による

「一人暮らし高齢者の適応に 関する研究」から

安田女子大学大学院生によるアンケート調査に、しゅりあちよーくのご利用者様21名にご協力いただきました。

アンケートは、一人暮らし・同居家族のいる高齢者の幸福感・健康感を調査する内容でした。調査にご協力いただいた方の平均年齢は85.2歳で、皆様ご自分で記述されました。

「生きがい」について多かった回答

- ・ デイサービスに来ている時
- ・ 子どもたちや孫の顔を見た時の喜び
- ・ 健康で日々を楽しむこと
- ・ 人の役に立てたと思うとき
- ・ 旅行に行ったとき

「不安」について多かった回答

- ・ 持病がだんだんひどくなる事
- ・ 健康が不安
- ・ 一人ぼっち



「生きがい」について、「 に行ってきたんよ。」と旅行が好きな方や海外に行かれた方も。日々のリハビリの成果から「立ち上がるのが、早くなったね。」と親戚から言われたと話される方もいらっしやいます。また、お孫さん・ひ孫さんが生まれたことをこぼれる笑顔で話されます。ご利用者様同士の会話も楽しみにされているようです。アンケートから皆様、「家族の絆」や「趣味」を大切にされていることを教えていただきました。アンケートにご協力いただきありがとうございます。

しゅりあちよーくリーダー 幾田 千代

あすかグルメだより

シリーズ3

野ばら 深川 智美

私のお勧めグルメは、月に一度の「お楽しみ献立」です。「お楽しみ献立」とは、当日直前までメニューが分からない献立のことです。毎月、「この日は、今日のお昼はなにかな？」と楽しみにしていらっしやいます。

4月のテーマは「春」。南天柄の八角点心箱の中には、桜寿司。箱の蓋を開けた瞬間、桜の塩漬けや桜田麩のピンク・錦糸卵の黄色・きぬさやえんどうの緑とさまざまな春の色が目飛び込んできました。お吸い物には愛らしい桜麩が浮いています。筒・菜の花と旬の食材もいっぱいです。「わあ〜きれいなええ。」「おいしいわ。」と春いっぱい味の楽しみました。いつも期待を上回るお料理を提供して下さる(株)富士産業さん。これからも皆様の顔がほころぶ美味しいお料理をお願いします。



4月17日(土)
「お楽しみ献立」

- ・ 桜寿司
- ・ 炊き合わせ
- ・ 菜の花の辛子和え
- ・ 筍の木の芽和え
- ・ 桜麩のお吸い物
- ・ もみじまんじゅう



つどいの家



4/5 ~ 8

やっぱり、桜は最高！

満開の桜に映える「つどいの桜」

花見



満開の桜の下で！

今年の桜は、開花が早かった割に満開までに日数があつたので、「つどいの家」にとっては、天候にも恵まれた絶好の時期のお花見となりました。「きれいじゃね、姉姉するね！」「暖かいね、楽しいね！」と、時たま舞う桜吹雪にみんな、すてきな笑顔になりました。おやつを頬張りながら、春の息吹を堪能しました。

しゅりあちよーく

野ばら

4/1・2・3・5・6・8

しゅりあ・野ばらは広島市森林公園(東区福田町)へ行って来ました。ポカポカと日差しも暖かく、ソメイヨシノや京都から来た枝垂れ桜をながめたり、ふわふわとした桜の花に触れたりとお花見を満喫しました！



▲ 満開！枝垂れ桜！！

◀ 桜の花びらで 桜笛



桜の花びらふわふわでやわらか~い！



むすびはやっぱりむさしよねえ~！

ハイ、ピース!



まやるちょーく

3/29(月)~4/3(土)の間、10人前後で毎日実施



気持ちいい~

今年は桜の開花が3/21に発表されましたが、なかなかお天気に恵まれず満開の桜を見る事ができませんでした。大きな大きなてるてる坊主を作ってはみたものの初日から雨、2日目は曇り3・4日目は雨・その後風が強い日と続き、お花見ドライブに変更。まだまだ咲き初めの桜を眺めて回りました。やっとやっと最終の組は、お天気になり青空の下でお弁当を食べる事ができました。



ショートみどりい

4/6

この日は、午前中、みんなで、ペットボトルに花や葉を模ったフェルトをボンドで貼って花びん作りをしました。花びんが出来たら、桜、カーネーション、チューリップ、フリージアなどの色とりどりの春の花を生けて楽しみました。フロアには、春の香りがいっぱい。

すっかりお花見の気分になりました。

花を楽しみながら、お花見会用の弁当に舌鼓・・・桜寿司、炊き合わせ、鱈の木の芽焼き、菜の花辛子和え、桜くずまんじゅう、イチゴなど旬の味に春を満喫した一日でした。



いい香りねー

フェルトをボンドで貼ります▶

▶お花見弁当



ホットケーキの日



おいしく焼けますように!

4階のご利用者様とホットケーキを焼きました。材料をボールに入れる人、生地を混ぜる人、ホットプレートに生地をのせて焼く人、みんな張り切っています。

「昔はねえ、よくケーキを焼いとったんよ。」と思い出話に花が咲きました。

「ええ色に焼けるとねえ」とみなさん満面の笑顔です。

焼きたてのホットケーキに、あま〜い蜂蜜をかけて食べました。「やっぱり出来たてはおいしいね。」「自分で作ると違うねえ」皆さん大満足の一日でした。



ショートいわや

4/9

すてっぷ
せら
世羅

つるこ
つる子さん



おもしろきかな我が人生



「ここに来るのを
指折り数えて
待つとるんよ」

大正14年3月8日(85歳)

- ・お住まい...安佐南区八木町
- ・好きな食べ物...おもち、おはぎ

子どもの頃・・・

子どもの頃はおてんば娘でね、女の子と遊ばずによく男の子と遊びよったんよ。昔は輪ゴムと輪ゴムをつないでゴム飛びをしたり、石けりしたり、山に行ったりして遊びよったんよ。学校から帰ってすぐにかばんを置いて近くの太田川にエビを捕りに行きよったの。太田川は膝くらいまでの水位で入りやすく、よく行きよったんよ。エビのえさは、ぬかと砂を混ぜたものを使うんよ。エビはくると背を丸めて逃げるけえ、えさをまいて逃げる前に、後ろからつまくエビ網で捕りよったね。多い時でバケツ半分は捕れて、それを母親が天ぷらにしたり茹でて食べさせてくれよったんよ。時々はね、父親と一緒にうなぎを捕って帰ったりもよったね。

あとね、二つ歳が下の弟を泣かしては、よく父親に怒られよったよ。弟の気が弱かったのか、何かすればすぐ泣いてしまつて・・・あの頃が懐かしいよ。

水害・・・(昭和18年9月)

水害が起こる四日前から大雨が続いてね、その雨でダムが満水になってしまつたらしいのよ。今は危険な状態なら必ず警報がすぐに出版避難できるけど、当時はそういうのがあつたのか、なかつたのかわからんね・・・突然ダムの栓が抜かれて一気に可部の町へ水が流れ込んできたんよ。もちろん私たち家族は逃げ遅れてしまつて、水が胸のあたりまできてからびつくりしたよ。たまたま隣の家の被害が軽くてね、すぐに助けてもらつたのよ。そうそう、水が流れてくる前に母親が二升のご飯を炊いとつてくれよったんよ。着るものも、部流されてしまつたんよ・・・着るものも、食べるものも、住むところも全て失つてし

まつたね。特にうちには、9人兄弟で家族が多くて大変だつたんよ。あの頃はどうかやつてしのいだのかは忘れてしまつたけど、母親が一生懸命働いてくれていたから何とかご飯を食べていけたのかもしれんね。可部は燃料が不足しよつてね、電気がガスがなくてから、水害で流れ込んだ木を切つてそれを燃料にしよつたんよ。ほんと説明できんくらいあの時はひどかつたんよ。

戦艦大和・・・(昭和20年)

呉海軍工廠へ挺身隊として可部から29人も出てね、そこで私は酒保(売店)で同じ可部から来た人と一緒に働きよつたんよ。ある日ね、いつもは仕事場まで内列車で行きよるんよ。その日はたまたま歩いて行く事になつてね、そして途中皆が集まつて何かをのぞいてたんよ。私も何かと思つてのぞいてみたから、そこに大きな大きな船があつてね、それが戦艦大和だつたんよ。ものすごく大きくてね、6階建てのビルくらいの高さだつたかな。ただただぼけえとして大和を見よつたよ。これが大和があつて、大きい船だつた事は覚えとるよ。みんなが見れたわけじゃないから、これも挺身隊に出たおかげだとおもつとるんよ。でも次の日はもういなくなつたけど。

今が楽しい第二の人生・・・

ここに来たきつかけは、近所の方に誘われたけえなんよ。私がね、足が痛いじゃ腰が痛いじゃって話をしよつたら、それならすてっぷに入らんか? って言われてね。最初は戸惑いがあつたんよ。けど、

ど、実際来てみると、すごくいい所だね・・・食事はおいしいし、いろんな方とお話ができたり、皆さんによくしてもらえけるんよ。すてっぷに来ることが楽しみなんよ。参加する日があるのを指折り数えて待つとるんよ。あとね、息子にも、おふくろ変わるんよ。って言われて、どついつ風になつて聞くと、明るくなつたよ。って言われてね、すごく嬉しかつたね。

もつひとつの楽しみが、畑仕事なんよ。自分で土を耕して種をまいてやりよるんよ。じゃがいも、たまねぎ、ブロッコリー、大根、ごぼう・・・時期の野菜を作るの。自分で食べれる分だけを作つたり、たくさん収穫できた時は近所の方にもあげたりしよるんよ。今はたくさんの楽しみがあるけえ毎日が楽しいよ。



お話がとてもお好きな世羅様。いつも私たち職員に楽しいお話をして下さいます。明るい笑顔で、ボール体操・機械運動など、本当に一生懸命頑張つておられます。これからもどうぞよろしくお願ひ致します。今回はインタビューに答えて頂きありがとうございます。

すてっぷ 寺本 友江

若竹句会四月作品抄

信廣高陽 選 (平成二十二年)



どか雪や 南の風を 呼びこんで

〔寸評〕どか雪は、一時に多量に降り積もる雪のこと。関東以西の太平洋側では、真冬より早春に雪が降ることが多いといわれています。これも降りつつ解けていくのが一般ですが、意外な大雪の場合があります。この句、「南の風」は、なにか人恋しい待春の風情が感じられる一句です。

小西 春良

花畑 私も出よう 啓蟄だ

〔寸評〕蟄虫、すなわち冬ごもりの虫がはい出る三月六日頃のことを啓蟄といっています。花畑を見て作者本人が虫になったつもり的一句ですね。この世があまりに幸せすぎて、まだ見ぬ世界を訪ねてみたいのか、作者らしいユーモラスな一句です。

小西 春良

年とれど まだまだ元氣 春を待つ

〔寸評〕「まだまだ元氣」の中七が、この句の見せどころ、高齢者集団の中であって、意気軒昂(いきけんこう)リズム感のある前向き的一句です。

西 富枝

残雪を 眺めてランチ 夢のよう

〔寸評〕岡山・鳥取両県の境に位置する蒜山原ひるぜんばら(を)を訪ねたときの一句とこと。標高一、二〇二メートルの高原の残雪を眺めながら名物のジンギスカン料理を食しているのじゃよう、至福の一句。

西 富枝

雪柳 やさしく揺れて 花のれん

〔寸評〕葉が柳に似て、白い小さな花が雪の降りかかったように枝に群がって咲くところから雪柳と呼ばれるのだそうです。花の形が米粒のように細かいところから小米花(じいめばな)とも呼ばれます。この句、「花のれん」のたとえが成功しています。

中谷 明子

植木市 花花迷い 帰路手ぶら

〔寸評〕植木市は春の季語。春、ことに彼岸前後は開花するものも多く、移植にも適する時期なので寺社などの縁日などその境内で植木市が立つことが多い。この句、「花花迷い」「帰路手ぶら」は、読む人をして、あつと言わせる表現方法ですね。

中谷 明子

山焼も すんだ途端に 新芽ふく

〔寸評〕「途端に」の意味は、ちよつどその時、同時、直後のことをいいます。(広辞苑)となれば、途端に「はちよつ」と言い過ぎではないだろうか。でも作者の感動はこの「途端に」にあったと思います。木の芽の生命力のつよさをとり上げた作者の着眼力に敬意を表してもいいのではないだろうか。

常広 信枝

子供らが 網持ち遊ぶ 春の水

〔寸評〕春の水の本意は、満々としたその水量にあり、また感触は冷たくなく、ぬるむ水の感じをいいます。この句は、子供の遊びから、春の感じを確かにしたという写生句です。

常広 信枝

卒業式 晴れ着姿で 親も子も

〔寸評〕小学校から大学まで、卒業式は三月初旬から下旬にかけて行われます。この日、美しい和服・袴に卒業証書の紙筒をもつ女子学生の姿が、今も見られます。また教育ママの着飾った姿には一家挙げての喜びが感じとられる季節です。

河野 一枝

長閑なる うつらうつらと また眠る

〔寸評〕「のどか」は空が晴れて、のんびりとおだやかな長い春の日にいいます。参者までに、麗らか(うつららか)とは、春の日が輝きわたって、万象ごとく柔らかに明るく、美しく見え渡る様をいいます。

河野 一枝

甲高き 声ひろがるや 春休み

〔寸評〕気分的に学年が終了したという安堵感・開放感があり、加えて進級・進学という喜びも重なり、さらに季節的にも恵まれた、心休まる、のびのびとした春休みです。どこからとなく聞こえてくる子供の声も甲高く広がってくるようだとは、よくぞいいける佳句です。

熊本ハツエ

つくしんぼ 枯葉の中に 勢揃い

〔寸評〕つくしんぼは、早春の堤(つつみ)や野原、畦の雑草の間に生え群がっています。この句は、群がって生えている様子を勢揃いと言って、得意満面の一句です。

熊本ハツエ



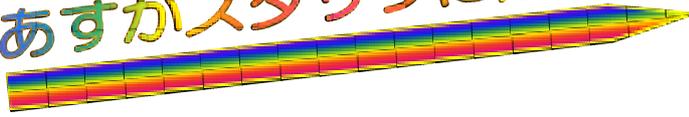
選者 吟

白木蓮 村一番の シャンデリア

信廣 高陽

先月号の選者吟の下五、ご寄稿はご寄稿の誤りです。訂正とお詫びを申し上げます。

あすかスタッフに迫る!



まやるちょーく

介護職員

佐々木 照美さん



Q. 勤続年数は?

A. 平成12年10月に入社したので、もうすぐ10年になります。

Q. まやるちょーくではどんなプログラムに携わっていますか?

A. 主にカラオケ・音楽療法・民謡に携わっています。私自身も歌が大好きです。色々な歌を通して、普段はあまり声を出す機会のないご利用者様の発声練習、気持ちが和やかに、楽しく元気になって頂けるようなプログラムになるよう心がけています。

カラオケでは季節を感じる事が出来るように選曲にも注意しています。

Q. ご利用者様との関わりの中で気を付けていることは?

A. 1日を楽しく過ごして頂ける様、無理なくプログラムに参加していただける様、その日のご利用者様の体調に注意し、ご利用者様の話をたくさん聞かせていただきたいと思います。これからも人生の先輩であるご利用者様にたくさんの事を教えていただき、成長して行けたらと思います。

Q. 今、一番楽しみにしている事は何ですか?

A. 9月に初孫が生まれるのが、今一番の楽しみです。あと、旅行が大好きなので主人が定年になったら、世界中を旅行する!という大きな夢があります。

ご利用者様より

「カラオケ終了時の“がんばれカーブ! 私たちもパワー全開で頑張るぞー! エイエイオー!!”等、時折々の元気が出る掛け声が好き。佐々木さんならではの表現じゃねー。」と、お言葉をいただきました。

これからもご夫婦仲良く、旅行を楽しんでください。 インタビュアー まやるちょーく 山崎 章子

3S

Specialist (専門家)

~ 医療法人あすかの理念 ~

職員は、医療、看護、介護の専門家 (Specialist) としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。

当法人は ISO9001 の認証施設です



Sympathy (共感)

職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し (Sympathy) 必要サービスを継続的に提供します。

Safety (安全)

職員は、患者様と利用者様の健康と安全 (Safety) に対して細心の注意を払います。

【編集後記】

今月は、各事業所お花見を楽しまれました。たくさん写真、掲載することが出来ました。いつも、イベントページの4、5ページ目をカラーで印刷しております。皆様のとて、良い表情を、よりきれいに提供したいだけなのでカラーページがあつて良かったなと今月改めて感じました。

毘沙門クリニック
シヨートステイ いわや
デイサービスセンター 野の花

あすか療養センター 緑井3丁目40・30

毘沙門台東1丁目24・16
デイサービスセンター しゅりあちょーく
デイサービスセンター 野ばら

高橋内科小児科医院
デイサービスセンター まやるちょーく
通所リハビリテーション すてっぷ
シヨートステイ みどりい
小規模多機能型居宅介護事業所 つどいの家

緑井2丁目12・25

あすか福祉用具貸与事業所
あすか病児保育室

あすか居宅介護支援事業所
082・830・5177

緑井3丁目20・1・103

医療法人あすかの医療・介護関連施設